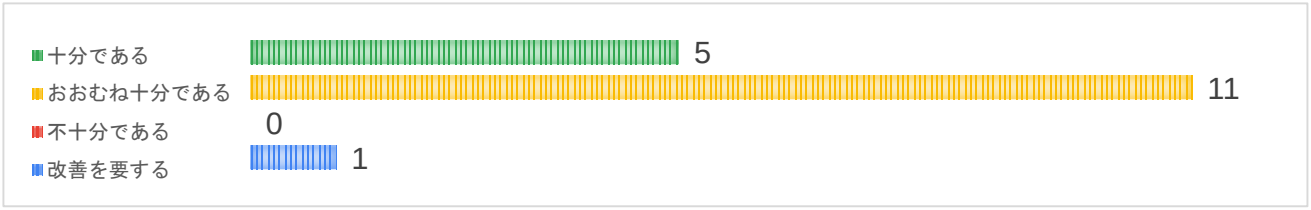
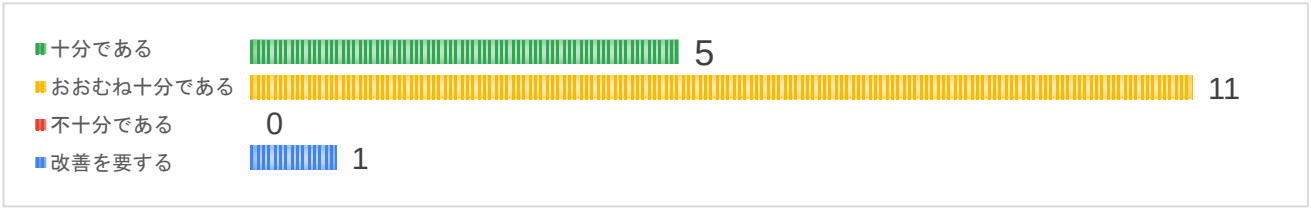
令和５年度　置戸高等学校　第１回学校評価（教職員用）

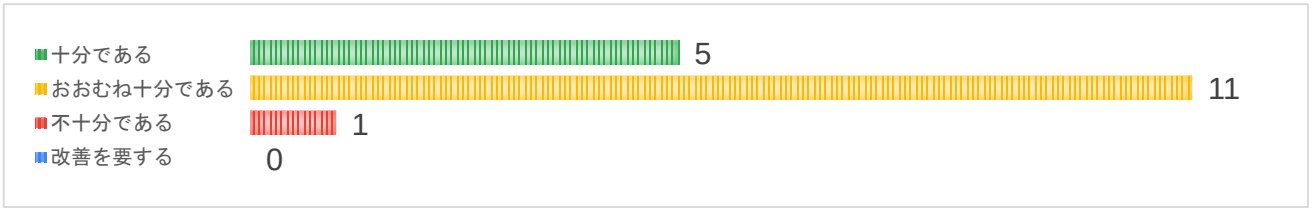
１．生徒の実践や保護者、地域住民の願いを踏まえて学校の教育目標を設定している。



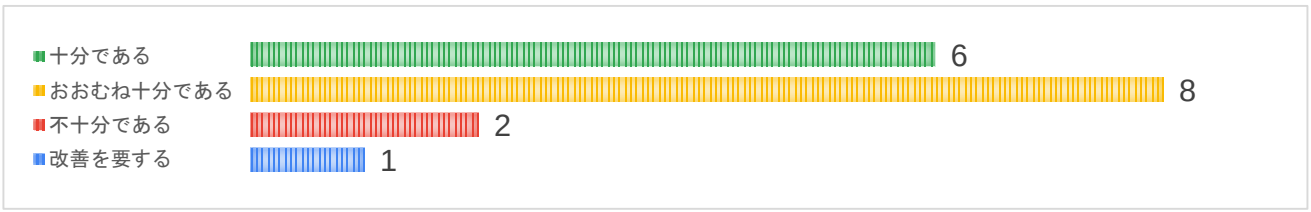
２．学校の教育目標を具現化するという意識のもと、日常の教育活動を行っている。



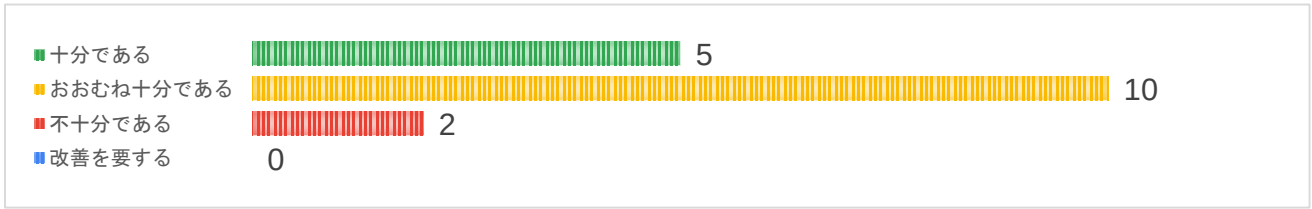
３．学校運営の効率化などを図るために、校務分掌内の組織の改善を行っている。



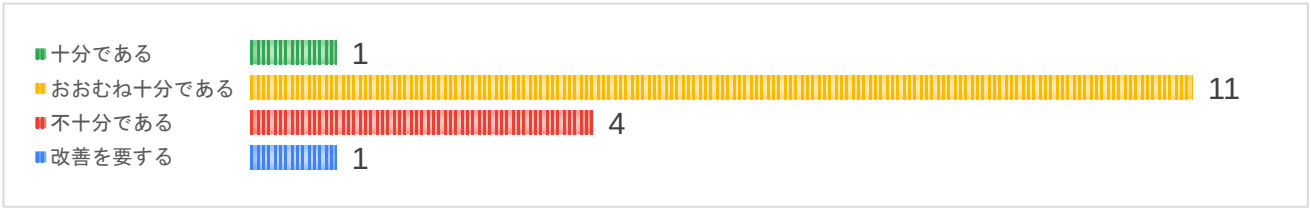
４．学年相互の連携はもとより、各学年や分掌との連携を十分に図っている。



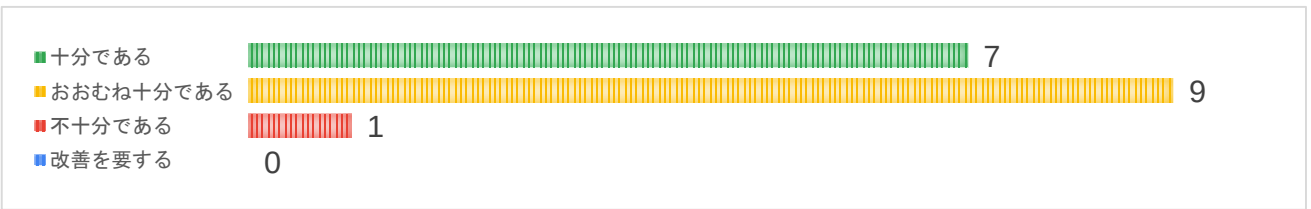
５．教科内研修はもとより、校内研修を積極的に推進している。



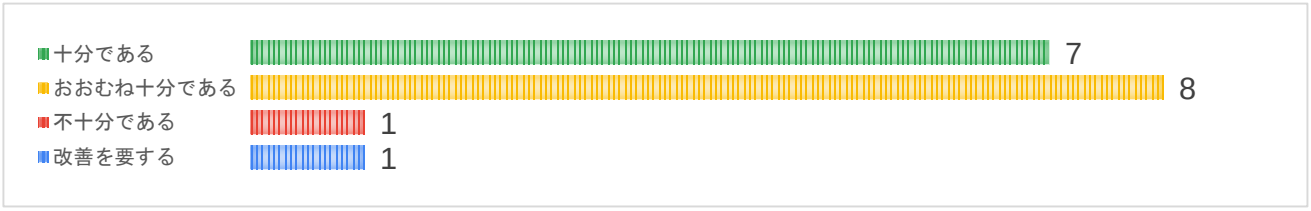
６．働き方改革について、積極的に実践している。



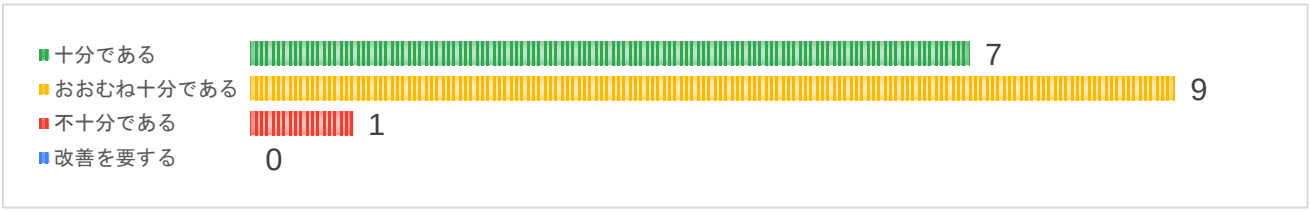
７．新学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえて、時代に対応できる教育課程の編成を行っている。



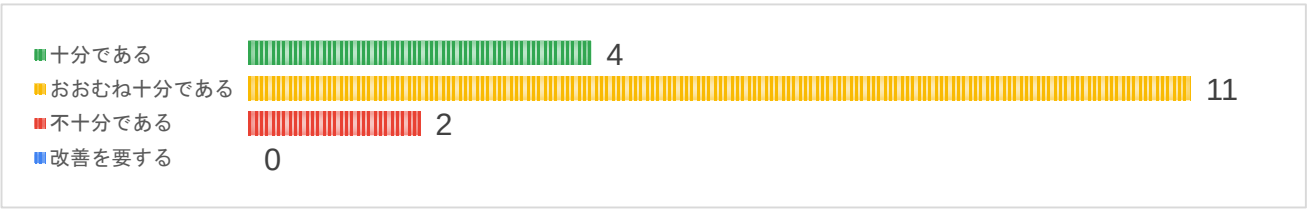
８．人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行っている。



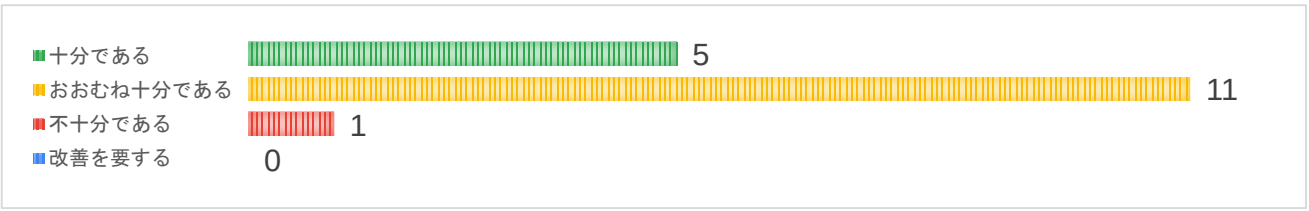
９．基礎・基本の確実な定着を図るために、日々の授業改善や成績不振者への補習授業など特別授業の実施に努めている。



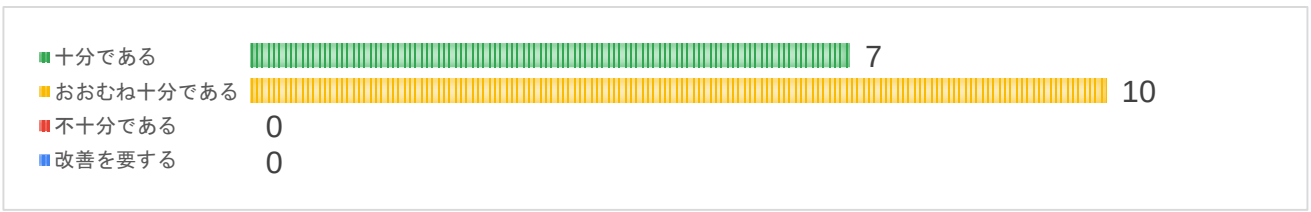
10. 生徒の学習習慣を定着させ、基礎学力の向上が図られている。



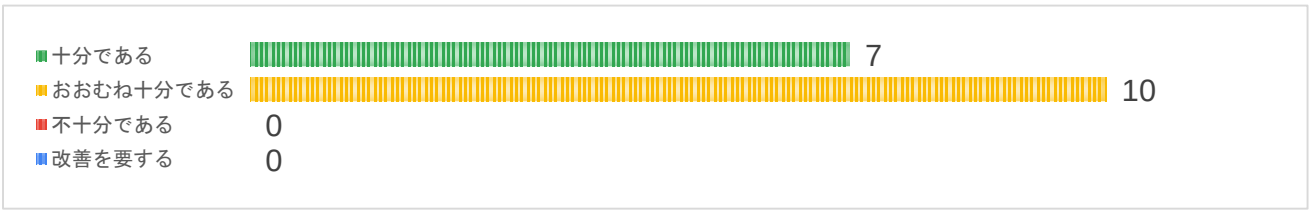
11. 教科担任とHR担任の連携のもと、共通した授業規律が実践されている。



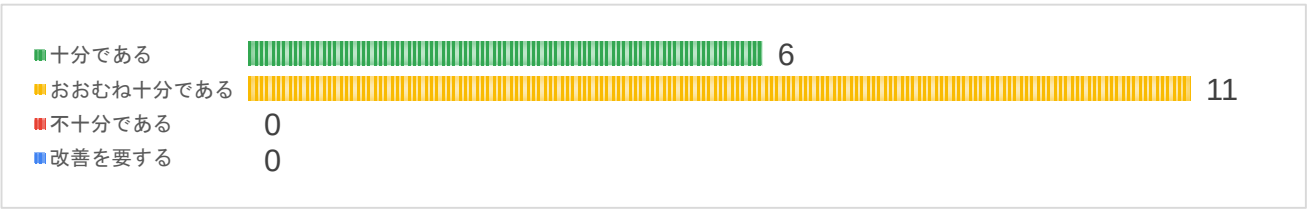
12. 各教科・科目のシラバスを作成し、学習の目的や学習方法を事前に生徒に説明している。



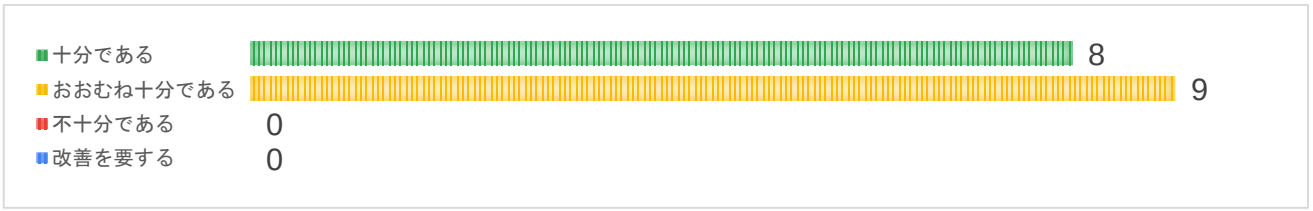
13. 生徒の確かな学力を育むために、各教科・科目において適切な評価規準を設定している。



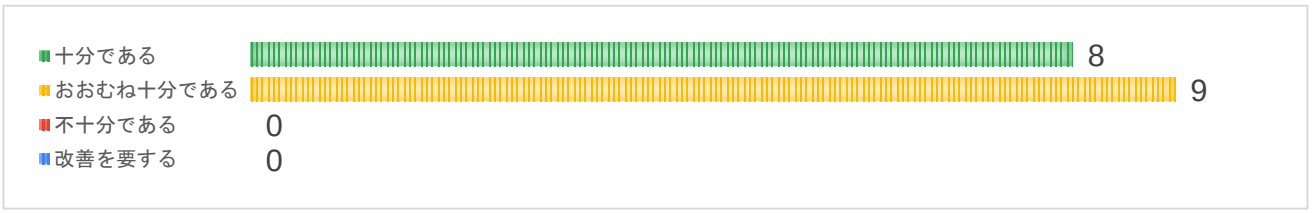
14. 主体的・対話的で深い学びを積極的に授業改善に取り入れるように努めている。



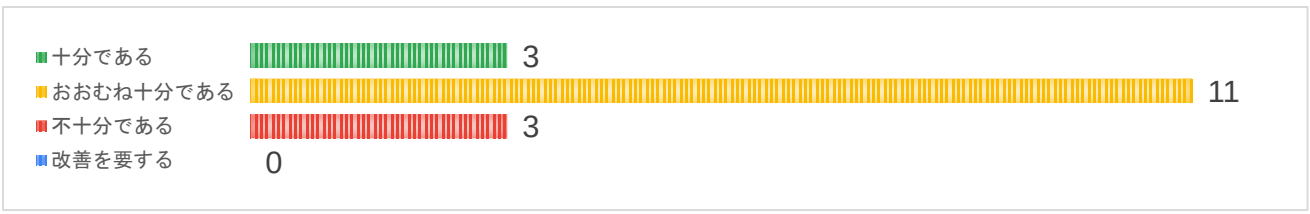
15. 基本的な生活習慣を身につけされるために、全教職員で生徒指導を行っている。



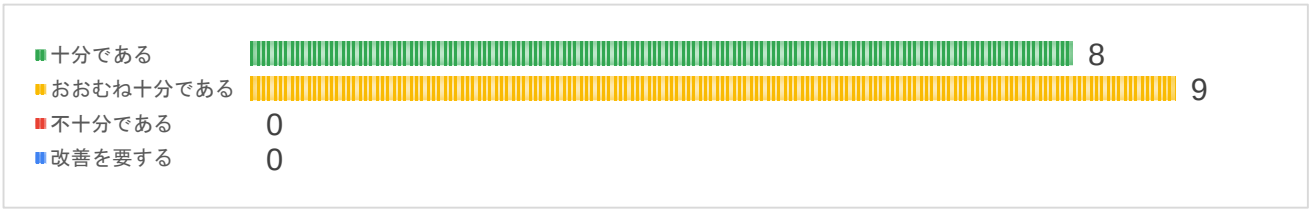
16. 生徒の安全を守るために、交通安全や情報モラルに関する教育活動を行っている。



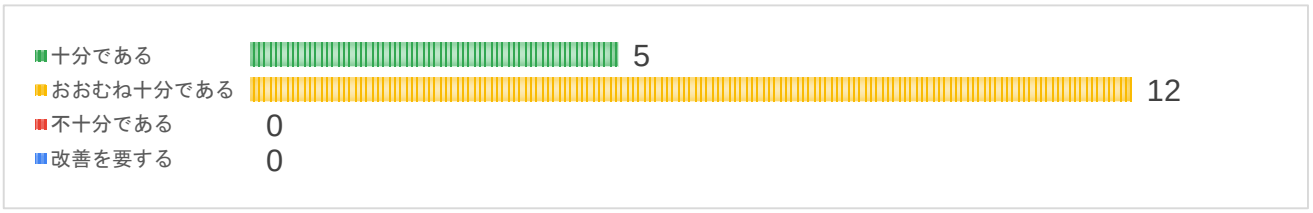
17. 教職員間で、必要な情報の共有化がされている。



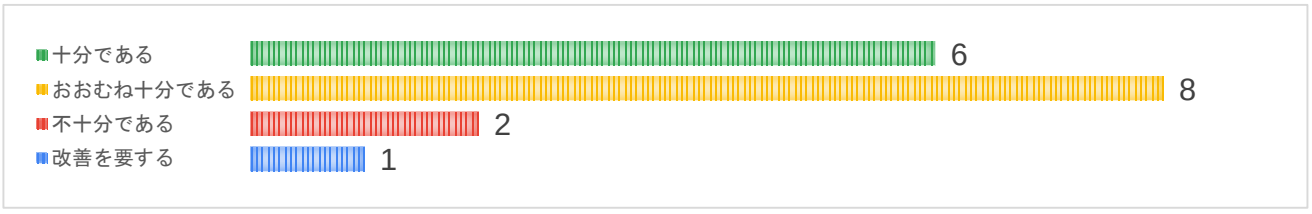
18. 定期的または必要に応じた教育相談活動を行っている。



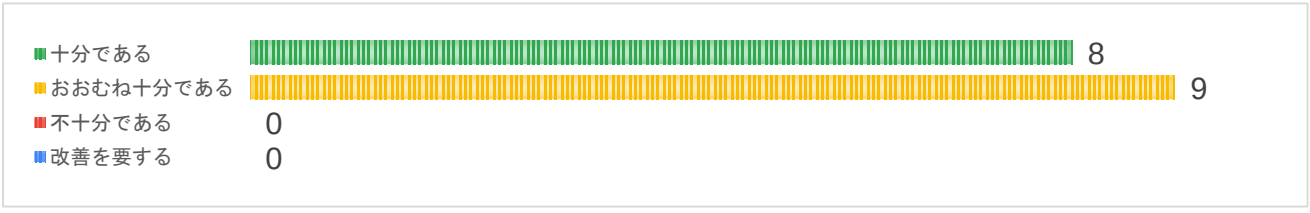
19. 生徒会行事や部活動など、生徒会活動の活性化に努めている。



20. 体育・健康に関する指導や保健衛生の理解を深めるなど活動を通じて、生徒が生命の大切さを知り、健康で安心できる生活を送れるよう努めている。

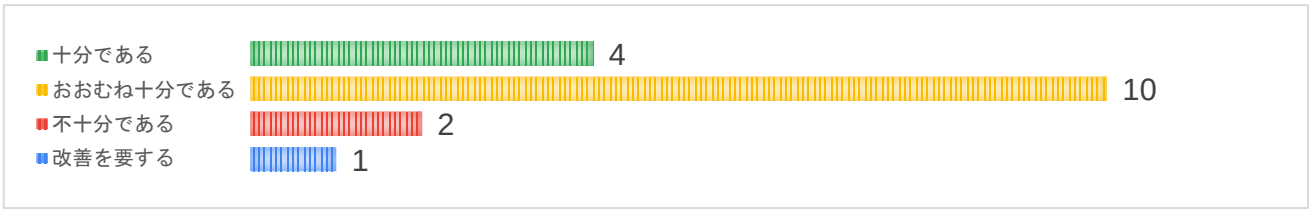


21. いじめや体罰の防止に努めた教育活動を行っている。

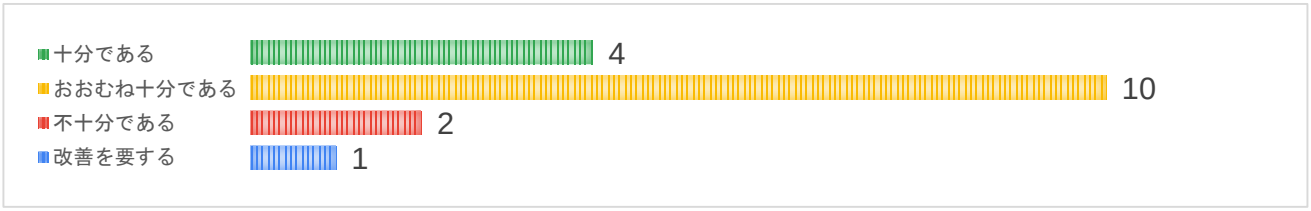


22. 生徒や保護者、地域住民の期待に応えるために、充実した進路指導体制づくりに努めている。

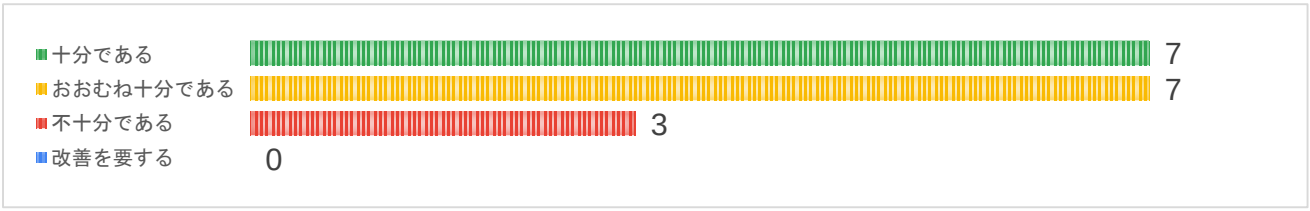
23. 進路実現に係る様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。



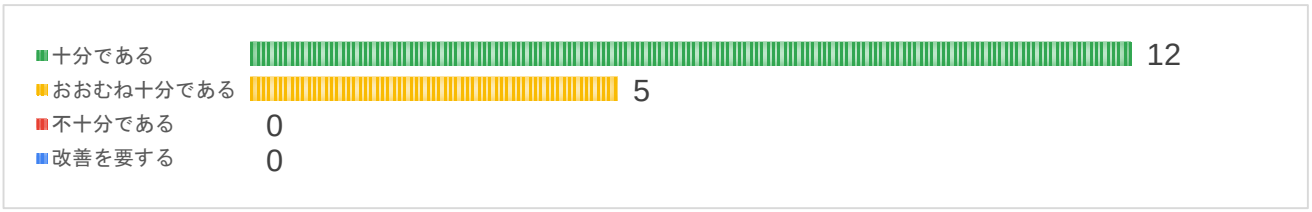
24. 個々の生徒が進路への意欲を高め、３年間通して自らの進路を実現できるような進路指導がなされている。



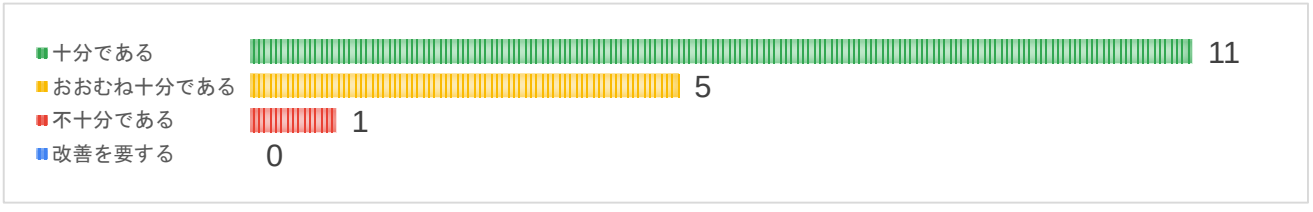
25. ハローワーク等関係機関と連携し、生徒個々の進路実現を図るために積極的な支援を行っている。



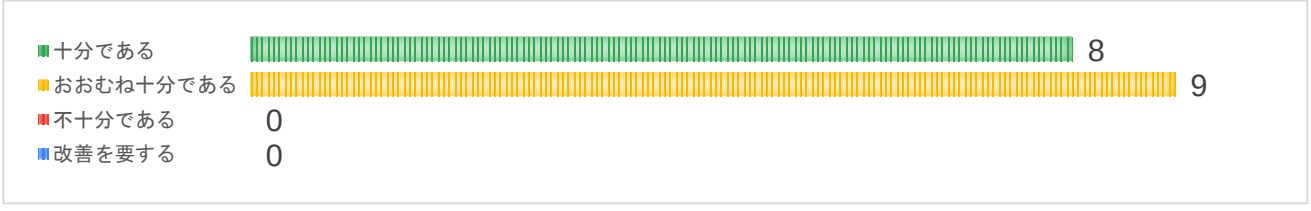
26. 介護福祉士資格取得に向けて、授業等を通じて積極的に取り組んでいる。



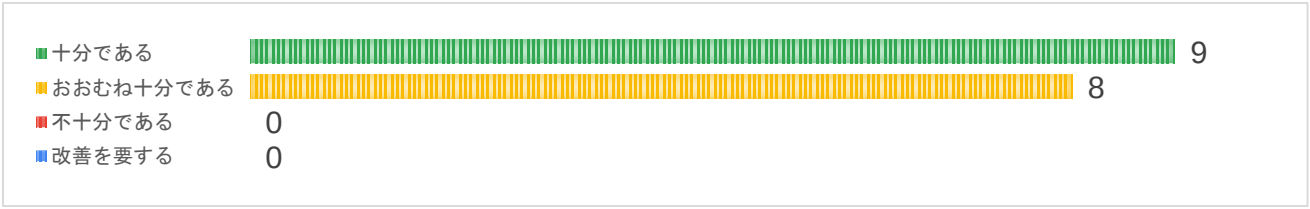
27. 各学年の介護実習において、全教員が一丸となって関係機関と連携を図り、事前・事後指導を十分に行っている。



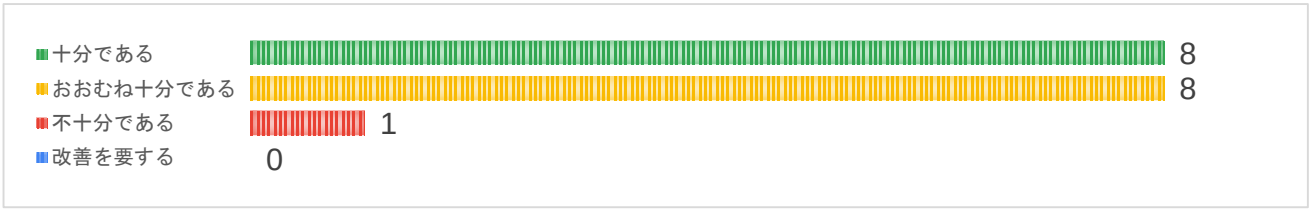
28. 福祉施設訪問等を通じて、生徒の就職支援を十分に行っている。



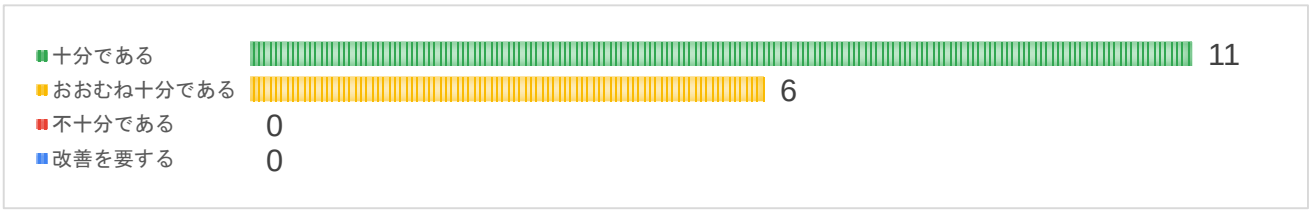
29. 校内LANの円滑な運用と改善を図り、校内の情報管理の徹底に努めている。



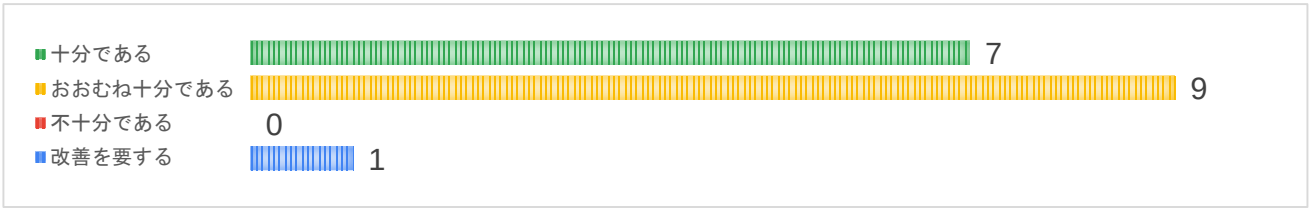
30. 生徒の健康的な生活を維持するために、適切な指導がなされている。



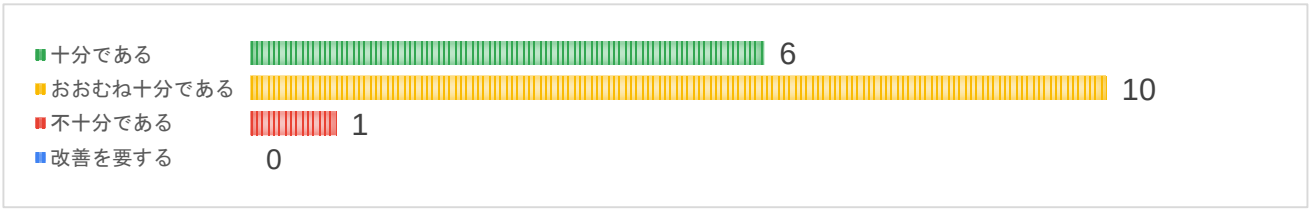
31. 調理職員、宿直代行員、町の教育委員会等、外部機関との連絡調整が密にとれている。



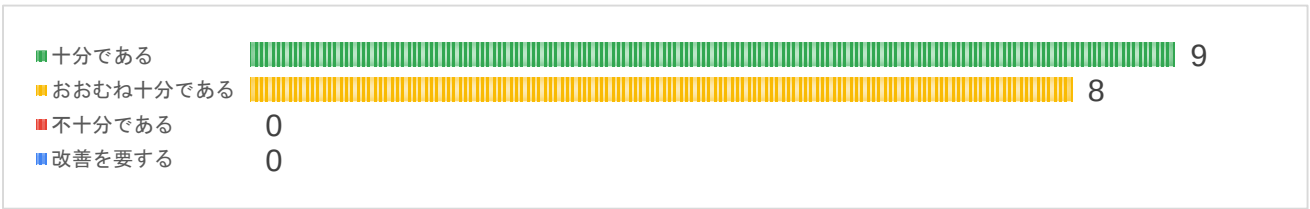
32. 体調不良や諸問題等が発生した際の連絡体制が確立され機能している。



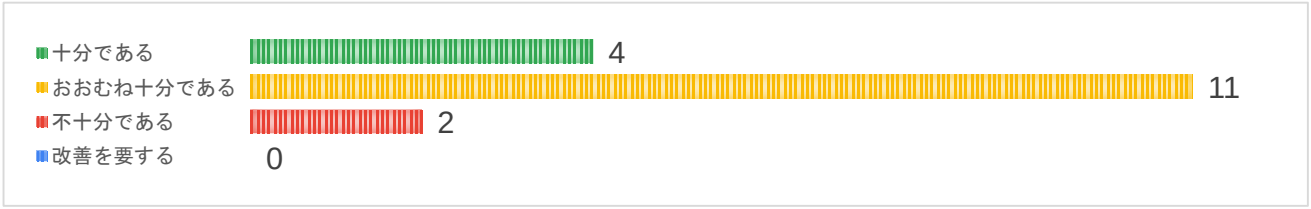
33. 学校の教育方針や特色ある教育活動などについて、保護者や地域住民などに説明責任を果たしている。



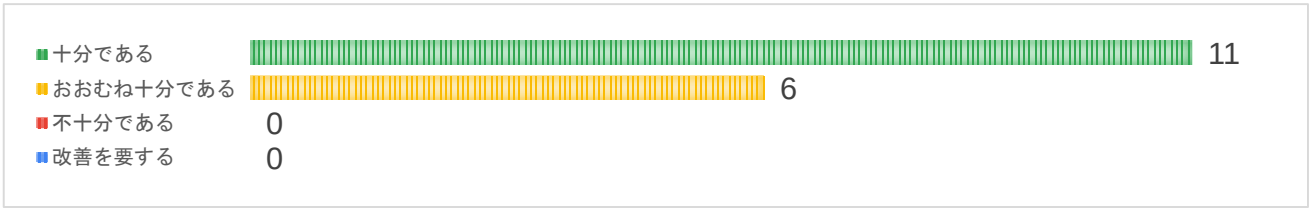
34. 「学級通信」、「PTAだより」や「学校webページ」、「SNS」などあらゆる機会を設け、学校の教育情報の発信を図っている。



35. PTA活動に積極的にかかわり、充実した活動になるよう努めている。



36. 生徒への精神的・経済的支援を行うために、置戸町教育委員会などの外部の関係機関との連携を図っている。



37. 本校の教育活動その他の学校運営について、意見がありましたら書いてください。

記述なし